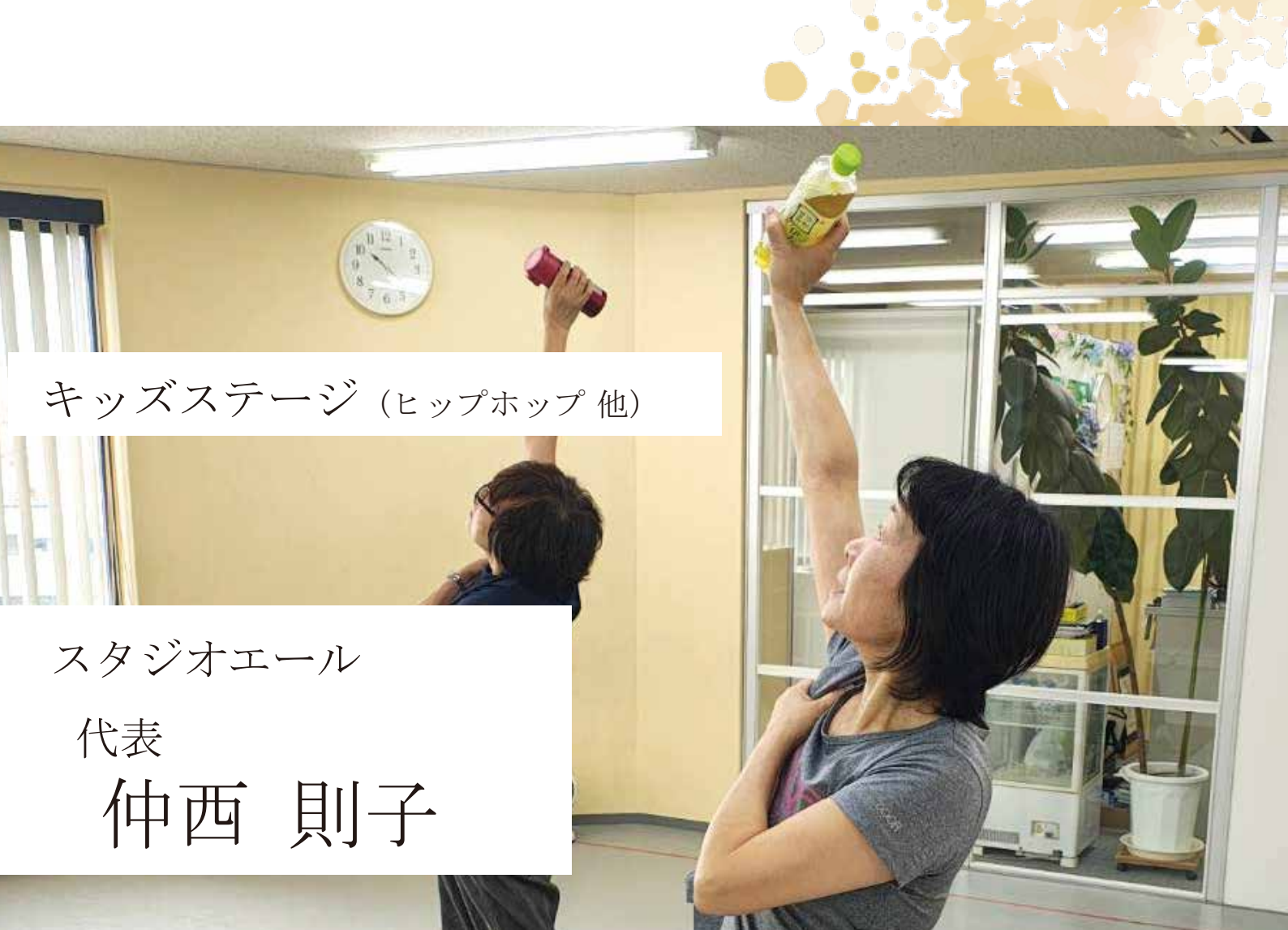




キッズステージ (ヒップホップ 他)

スタジオエール

代表

仲西 則子

profile

さいたま市で長年にわたり中学校教師を務める。定年退職後にシニアフィットネストレーナーの資格を取得し、2017年にスタジオエールをオープン。同じビルでレンタルスペースも運営。

事業：ダンススタジオの運営、ダンス指導／レンタルスペースの運営

趣味：レンタルスペース内の教室で、フィットネスや昭和歌謡など多くの習い事を楽しんでいます！

教師の経験が活かしていることはありますか？

生徒や保護者からはご家庭や学校のことでよくご相談いただけます。また元教師として思うのは、子どもには学校や家以外の“居場所”が必要だということ。勉強や学校の人間関係だけでなく、習い事や外のコミュニティで自信を持てる生徒を増やしたいですね。

Hikariba芸術祭に参加したきっかけは？

彦坂さんとは、レンタルスペースをアート教室としてご利用いただいたことを機に出会いました。彦坂さんは芸術への造詣も思いも深く、「さいたま市を芸術の街にしたい」というお考えにも感銘を受け、Hikariba芸術祭への参加も喜んで決めました。

今年の芸術祭で叶えたいことは何でしょうか？

来場者はもちろん参加者にとっても、世界を広げ成長できる場所にしたいです。昨年キッズステージに出演した生徒が、出番の後すぐに「来年も出られるの？嬉しい！」と喜んでくれて。今年は空き時間でワークショップやアート鑑賞も楽しんでもらいたいです。

今度の目標を教えてください。

私自身も、誰かの世界を広げるお手伝いをしたいです。まずスタジオエールでは、ダンスの楽しさや何かに打ち込む充実感を味わえる機会づくりを。またレンタルスペースでは、講師や生徒の皆さんの「挑戦したい」という夢の実現を支えていきます！

キッズステージ (クラシックバレエ)

Miily Ballet Studio

代表

か さい み い な
葛西 仁黎花



profile

3歳からクラシックバレエを始め、山本教子等に師事。日本音楽高等学校音楽科バレエコース卒業。2018年に(公財)井上バレエ団を退団。ミュージカルやバレエの公演等、数々の舞台に出演。2024年に自身のスタジオMiily Ballet Studioをオープン。

事業：クラシックバレエ教室の主宰、指導、振付、演出 等

趣味：温泉や、友人と食べに行く韓国料理がリフレッシュの時間です！

プロのバレエダンサーを志したきっかけは？

憧れのダンサーがおり、幼い頃にプロを目指し始めました。そしてある時、震災で心に傷を負った友人から「仁黎花のバレエの舞台を観て勇気が出た」という言葉をもらい、「誰かが前を向く力を届けられるダンサーになろう」と心に決め、より一層研鑽に励みました。

どんなバレエスタジオを目指していますか？

生徒にとっての“第2の家”を目指しています。お子様を中心に指導しており、バレエの技術だけでなく大切なマナーや人との向き合い方も伝えています。レッスンの前後で、親御さんには言いにくい悩みを相談してくれる生徒がいるのも嬉しいですね。

2026年のテーマ「揺らぎ」について思うことは？

時代とともにダンスのジャンルは増え、バレエを習う人は少なくなりました。しかし実はバレエには、あらゆるダンスの基本となる要素が凝縮されています。美しい姿勢や振舞いも取得できるため、性別や年齢を問わずぜひ挑戦してほしいです！

今後のお仕事の目標を教えてください。

3歳から小学生までのクラスに加え、今後はさらに中高校生以上やマダム向けのレッスンも考えています。また、演奏家を迎えての生演奏で舞台を行うことも密かな夢。常に第2の家という在り方は大切に、バレエが人生を支える心の軸となってほしいと思っています。

キッズステージ (チアダンス)



Kids Cheer Dance Bouquet

共同代表・講師

入江 綾結美

新堰 彩

profile

高校のダンス部の同期である入江氏・新堰氏で、2022年にKids Cheer Dance Bouquetを設立。3歳～中学生の生徒が集まり、神宮球場や国立競技場、東京ドームなど大きな舞台にも多数出演。

事業：チアダンス教室の運営・指導。季節の行事の開催や地域イベントへの出演などにも注力。

趣味：二人とも、推し活がリフレッシュ!…ではありつつ、

ライブは思わず、舞台演出などチアダンスの参考になるものを探してしまう時間に。

チアダンス講師として感じるやりがいは？

生徒の成長を見守れることです。例えば最初は泣いてばかりいた子が、「こんな振り付けはどう？」と自分で考えて提案してくれたり、年下の生徒に率先して指導したり。生徒が自主性や社交性を育みながら、心地よく過ごせる居場所になれていることが嬉しいです。

季節の行事や芸術イベントも大事にするワケは？

生徒にはダンス技術でなく、さまざまな人や文化、表現に触れながら豊かな感性を育んでほしいからです。季節や芸術に触れる経験や地域との交流も世界を広げてくれる学びの一つ。だからこそスクール内で完結せず地域と関わる中で得られる成長も大切にしています。

Hikariba芸術祭で叶えたいことはありますか？

屋外イベントが多い生徒にとって、ホールで踊るのは貴重な経験。舞台ならではの照明や音響を感じ、いつものチアとはまた違う「表現する楽しさ」に出会ってほしいです。観てくださる方にも、チアのエネルギーや舞台表現としての魅力を感じていただける演技を目指します。

今後のお仕事の目標を教えてください。

Bouquetに関わる全ての人が「出会えてよかった」と思える場所を作り続けることです。生徒が挑戦を重ね自信を持てる、保護者様が安心してお子様の成長を見守れる、講師が生徒の未来に関わるやりがいを持てる、そんな場所をチアを通して作り続けたいです。